

予算って どうやって作られているの？

予算編成は、前年の10月ごろから、全職員が一体となって取り組んでいます。

10月

新年度予算編成における基本指針や方向性を示した「予算編成方針」が、市長から全職員に通知されます。担当課は、これに基づいて次年度の事業実施に必要な額を計算し、予算作成を担当する財務課へ提出します。

10～12月

財務課は担当課から提出された要求額を査定し、その後担当課からの復活折衝協議などを経て、予算案をまとめていきます。この過程では、「坂出再生」に向けた新たなまちづくりの実現に向け、予算に反映させるなど、さまざまな観点から事業の取捨選択を行っています。

1月

市長自ら予算案を精査し、必要な指示・修正を終えると、予算案が完成します。

3月

予算案は議会で審議され、議決を経てはじめて正式な予算となります。



坂出市が年収500万円の 家庭だったら・・・

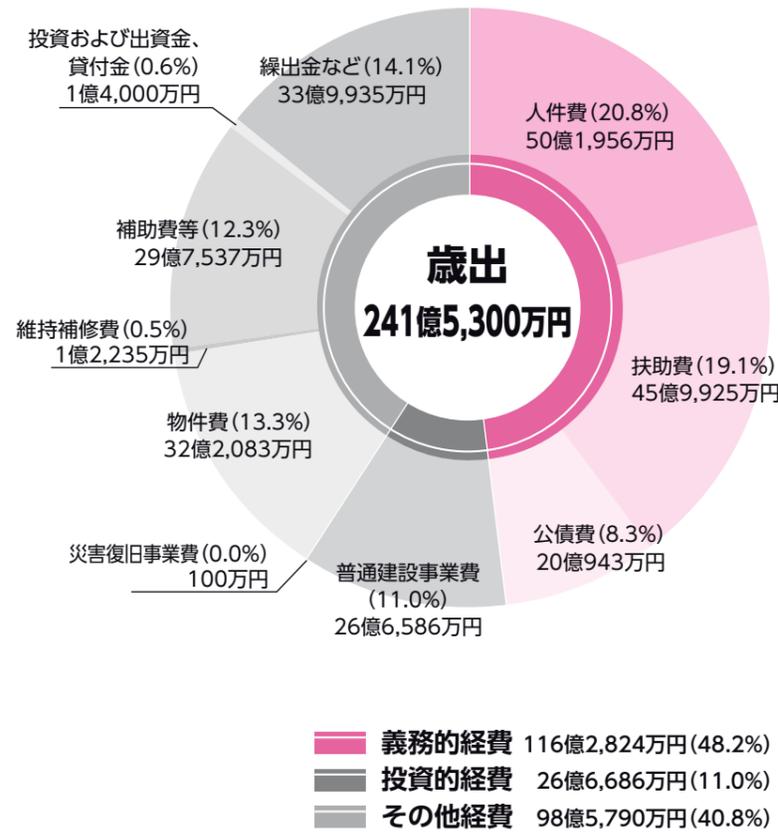
収入

給料(市税)	202万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など)	208万円
ローン借入(市債)	26万円
パート収入(諸収入・使用料など)	39万円
貯金から引き出し(繰入金)	25万円
合計	500万円

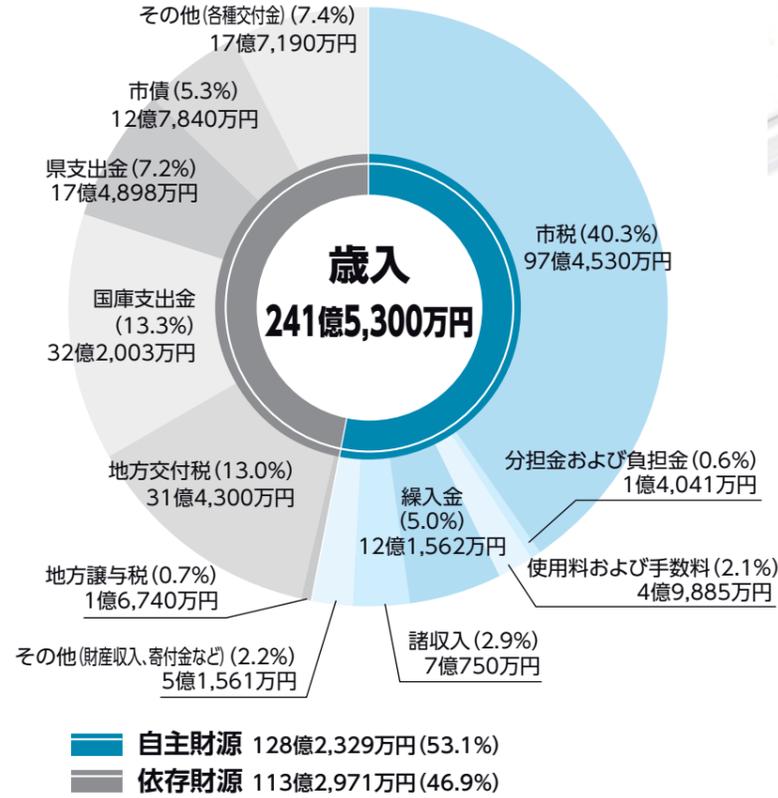
支出

食費(人件費)	104万円
子どもへの仕送り(繰出金・補助費等)	118万円
医療費(扶助費)	95万円
光熱水費・日用品費(物件費)	67万円
家の増改築費(普通建設事業費など)	55万円
ローンの返済(公債費)	42万円
貯金(積立金)	14万円
知人への貸し付けなど(貸付金など)	3万円
家具などの修理代(維持補修費)	2万円
合計	500万円

一般会計



の内訳



令和5年度 坂出市の予算

一般会計当初予算額241億5,300万円
「坂出再生」に向けた
未来への投資に注力

令和5年度の一般会計当初予算額は前年度比6.1%減(15億8,200万円減)となる241億5,300万円を計上しました。当初予算額は3年ぶりの減額となります。これは、学校給食センターの建設事業が終了し、投資的経費が約18億円の大幅な減額となったためです。「坂出再生」の実現に向け、人々が集い、安らげるオープンスペースとして再整備を行う市民ホール前広場および周辺歩道整備事業のほか、ゼロ・エネルギーハウスの取得費用を一部補助する「だったら、さかいで」本気でゼロカーボン生活応援補助金の創設などに積極的な予算を配分しました。さらに、県内初となる若年がん患者在宅療養支援事業助成金の創設や、産後ケア事業の拡充、マイボトル給水機整備事業など、各種施策にもきめ細やかに予算措置を行いました。

用語説明

- 自主財源** 市が自らの手で徴収または収納できる財源(市税、使用料など)
- 依存財源** 国または県が関わる財源(地方交付税、国・県支出金、市債など)
- 義務的経費** その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費(人件費、公債費など)
- 投資的経費** 社会資本の整備に要する経費(道路整備、学校建設など)
- その他の経費** 物件費や維持補修費などに支出される経費

会計名	令和5年度	令和4年度	増減率(%)
一般会計	241億5,300万円	257億3,500万円	▲6.1%
特別会計	129億4,227万円	131億8,183万円	▲1.8%
国民健康保険	58億54万円	59億9,039万円	▲3.2%
与島診療所	815万円	665万円	22.5%
港湾整備事業	2,128万円	2,118万円	0.5%
王越診療所	1,170万円	1,136万円	3.0%
駅北口地下駐車場事業	2,512万円	4,551万円	▲44.8%
介護保険	58億6,834万円	59億7,380万円	▲1.8%
介護予防支援事業	7,313万円	6,221万円	17.6%
後期高齢者医療	11億3,401万円	10億7,073万円	5.9%
企業会計	99億6,927万円	90億6,910万円	9.9%
病院事業	75億1,724万円	70億4,582万円	6.7%
下水道事業	24億5,203万円	20億2,328万円	21.2%
総合計	470億6,454万円	479億8,593万円	▲1.9%

ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み

だったら、さかいで
本気でゼロカーボン生活応援補助金
3,000万円

坂出市への移住・定住の促進を図り、活力あるまちづくりを進めると同時に、ゼロカーボンの推進のため、ゼロ・エネルギーハウス取得にかかる費用に対し、補助金を交付します。



市営テニスコート改修事業
(LED照明)

3,700万円

若年がん患者在宅療養
支援事業助成金

30万円

20～39歳のターミナル期にあるがん患者のかたが、住み慣れた自宅などで自分らしく過ごせるよう、在宅療養に必要なサービスなどに要する費用を一部助成します。

公共施設の老朽化対策

王越公民館除却事業
(旧王越幼稚園含む)

6,850万円

マイボトル給水機整備事業
240万円

給水スポットを設置し、マイボトルの使用を推進することで、使い捨てプラスチックの利用削減をめざします。海の資源を守るSDGsの取り組みへとつなげ、さらには2050ゼロカーボンの実現に向けた意識の醸成につなげていきます。



子育て世代に選ばれるまちづくり

紙おむつ処分事業

680万円

公立保育施設における使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、施設で廃棄を行います。また、自園処理する民間保育施設に対し助成を行うことで、衛生管理の向上や保護者・保育士双方の負担軽減が図られ、子育てしやすい環境を醸成します。



安全・安心のまちづくり

港湾地震津波対策事業(県委託)

2億800万円

市民ホール前広場
および周辺歩道整備事業

1億4,810万円

中心市街地に位置する市民ホール前広場と人工土地周辺の歩道について、人々が集い、安らげるオープンスペースとして、景観や安全性に配慮した再整備を行います。



公共交通無料デー負担金
200万円

移住促進・空き家活用型
事業所整備補助金
800万円

中心市街地商店街
活性化支援事業
補助金

1,370万円



みんなの “ココチよさ”が かなうまち

令和5年度 主要事業

令和5年度一般会計当初予算に計上した主要事業について、「坂出再生」「新しい坂出」の実現に向けた取り組みを紹介します。

「坂出再生」に向けた新たなまちづくり

公民連携推進事業

5,090万円

JR坂出駅周辺や坂出緩衝緑地などの整備を行うにあたり、魅力ある持続可能なまちづくりにつなげるため、民間事業者との対話や市民ワークショップなどを通じて、整備水準や手法などの検討を行い、公民連携により事業を実施します。



出典:ウォーカーブルポータルサイト(国土交通省)

公園整備事業

3,910万円

市民のふれあいやレクリエーション活動の拠点として重要な役割を担っている公園。より多くのかたが安全で快適に利用できるよう、駐車場などの整備を順次行っていきます。